

平成29年6月2日

厚生労働省
医療計画の見直し等に関する検討会
第5回地域医療構想に関するワーキンググループ

地域医療構想における 大学病院本院の位置づけに関する 提言

全国医学部長病院長会議
「大学病院の医療に関する委員会」
委員長 山本 修一
DPCに関するWG座長 小山 信彌
経営実態・労働環境WG座長 海野 信也

平成29年5月26日 全国医学部長病院長会議
地域医療構想における大学病院本院の
位置づけに関する提言(1)

- 大学病院本院は医療人材養成を担う医育機関としての機能と高度先進医療の開発と提供を担う特定機能病院としての機能を有しており、事実上地域の最大の急性期病院として、二次医療圏の範囲を大きく超えた地域の住民を対象として、専門性の高い医療を提供している。
- 地域医療構想の策定過程においては、このような大学病院の特殊性が十分考慮されていないことが懸念される。このままでは、大学病院本院を含む医療圏及びその周辺の医療圏の医療計画にひずみが生じる可能性があると考えられ、この状況の改善のための方策を早急に講じていただきたい、以下の点について要望する。

平成29年5月26日 全国医学部長病院長会議

地域医療構想における大学病院本院の 位置づけに関する提言(2)

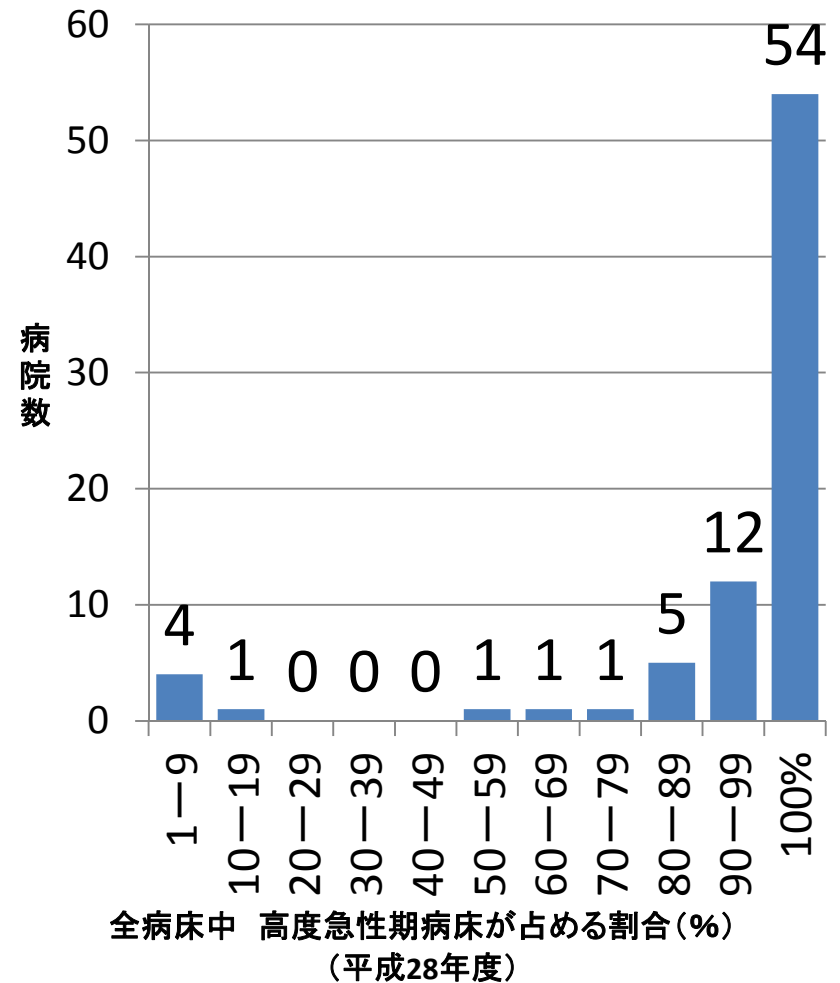
1. 大学病院本院の地域医療構想における位置づけを明確にすること。
2. 大学病院本院が「地域医療構想」における構想区域を超えた、より広範囲の地域の住民を対象として、専門性の高い医療を提供していることから、その実情を踏まえ、地域医療構想調整会議において、その担うべき役割について十分に議論すること。
3. 大学病院本院が所在している構想地域及びその周辺の地域医療計画においては、それを配慮して地域の病床構成を検討すること。
4. 大学病院本院からの病床機能報告については、地域のお他施設の病床と単純に合算するような対応は行わず、その特殊性を十分勘案した上で、集計するように配慮すること。

今回の提言の背景

- 平成29年1－2月全国医学部長病院長会議が全国80大学病院本院を対象としておこなった「大学病院の地域医療構想及び地域包括ケアの取り組みに関する調査」の結果から明らかになった、地域医療構想の現状に関する大学病院本院側の懸念についてご理解いただきたい。
- 地域医療構想策定過程における大学及び大学病院構成員の参画状況
 - － 特に大都市圏で参画していない実態があること
- 病床機能報告における大学病院本院の報告内容
 - － 全病床の90%以上が高度急性期と報告されていること
- 地域医療構想における構想地域と大学病院本院が診療を担当しているより広域な医療圏との間のギャップ
- 大学病院本院の教育・研究機能の評価
- 大学病院本院の地域への人材供給機能の評価

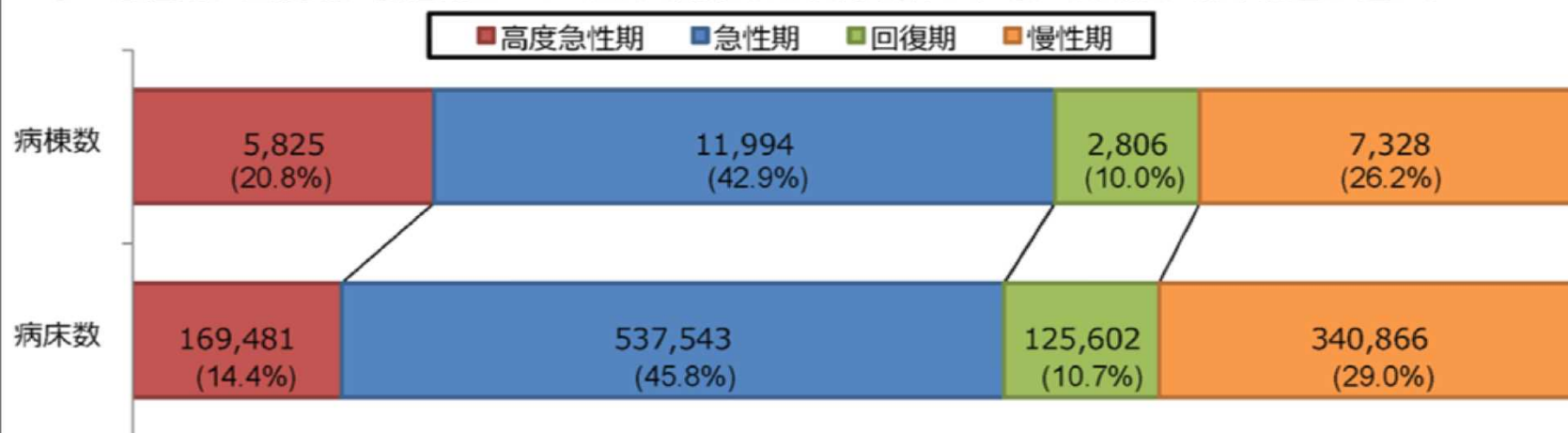
大学病院の地域医療構想及び地域包括ケアへの 取り組みに関する調査 (平成29年1-2月実施)

79大学病院本院	平成26年度	平成27年度	平成28年度
高度急性期	60934	57974	59101
急性期	3563	6271	5106
回復期	89	86	86
慢性期	58	74	52
79大学病院本院	平成26年度	平成27年度	平成28年度
高度急性期	94.26%	90.01%	91.85%
急性期	5.51%	9.74%	7.94%
回復期	0.14%	0.13%	0.13%
慢性期	0.09%	0.11%	0.08%



4 機能ごとの病棟数及び病床数について (病院)

- 高度急性期については、病棟あたりの病床数が他と比べて少ないため、病棟数が占める割合に比べ、病床数が占める割合が低くなっている。
- 急性期、回復期、慢性期については、病棟あたり病床数の平均、中央値、標準偏差が近い。

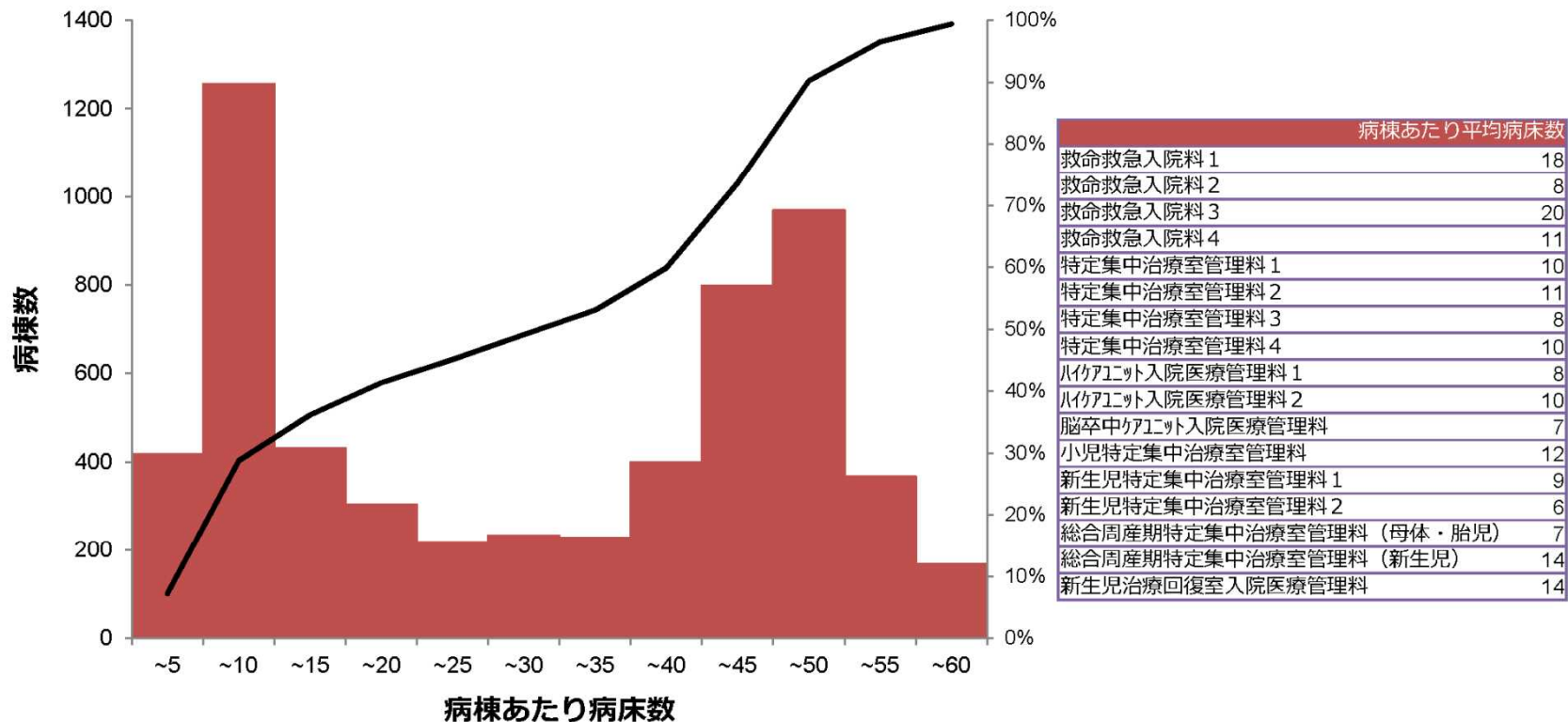


病床機能×許可病床数	(合計)		(病棟あたり病床数)						
	病棟数	病床数	平均値	中央値	標準偏差	最大値	最小値	(+)2SD	(-)2SD
高度急性期	5,825	169,481	29	32	18	95	2	66	-8
急性期	11,994	537,543	45	46	12	258	1	69	21
回復期	2,806	125,602	45	45	11	147	7	67	23
慢性期	7,328	340,866	47	48	13	193	4	72	21
合計	27,953	1,173,492	42						

※ 上記データは、平成28年度病床機能報告において、以下のエラーを除外し、集計したもの。
エラー：「報告対象外」、「病院/有床診療所相違」「許可病床数記載不備」、「医療機能記載不備(7月)」

高度急性期の病棟あたり病床数の分布について (病院)

○ 高度急性期と報告している病棟の病床数については、6~10床と46~50床で二峰性を示している。



n=5,825	病床数	平均値	中央値	標準偏差	最大値	最小値	(+)2SD	(-)2SD
高度急性期	169481	29	32	18	95	2	66	-8

※ 上記グラフは、平成28年度病床機能報告において、以下のエラーを除外し、5床刻みでヒストグラムを作成し、61床以上を非表示としたもの。
エラー：「報告対象外」、「病院/有床診療所相違」「許可病床数記載不備」、「医療機能記載不備(7月)」

大学病院本院の地域医療貢献の現状(1)

	回答数	平成24年度	平成25年度	平成26年度
年間総手術件数	80	714,892	735,725	746,473
平均		8,936	9,197	9,331
年間総救急患者受入数	80	889,148	868,428	843,942
平均		11,114	10,855	10,549

大学病院本院の地域医療貢献の現状(2)

調査年度(回答数)		平成22年度(79)	平成24年度(80)	平成26年度(79)
ドクターヘリ 保有	病院数	7	15	19
	%	8.9	18.8	23.8
ドクターヘリ 受入	病院数	42	54	57
	%	53.2	67.5	72.2
ドクターカー 保有	病院数	29	32	36
	%	36.7	40.0	45.6
緊急現場へ の出動	病院数	32*	40	39
	%	41.0	50.0	49.4

*: 回答数 78